

## 今日の説教のポイント<マタイによる福音書8章18~22節>

### ①背景：自分を取り囲む群衆を見て、向こう岸に行くよう命じるとは？

多くの病人を癒された主イエスを取り囲んでいる群衆を見て、弟子たちに向こう岸に行くよう命じたとあります(16-18)。これはどういう意味でしょうか？ 主イエスは、ただ癒されることだけを求めるようになった人々から離れようとされと考えられます。そしてこのことは、次に展開する二人の人物とのやり取りを生むことに繋がりました。

### ②問題：主イエスの厳しい言葉は誰に向かって語られたのか？

二人に対して語られた主イエスの言葉は、そのまま聞くと私たちにキリスト教の信者となることを躊躇させる、新約聖書の中でも最も重い箇所の一つでしょう。主イエスは「私には枕する所もない」と言われ、「父親の葬儀をしてから従います」と言った弟子の一人に、「すぐに私に従いなさい」と言われたからです。しかしここで注意しなければならないのは、これらは誰に対して言われたのかです。全ての信仰者に対してでしょうか？ 違います。ここではまず、「主に従って宣教に取り組む」と言う者たちに対して語られた言葉なのです。

### ③結論：主イエスの言葉を水増しして薄めてはならない。しかし、その言葉の恵みの意味が本当に分かるまで、強いるものでもない。

今でも、献身する者にとっては、これらは水増しして薄めてはならない言葉です。しかし、すべての信仰者に一律に求めるべきものでもありません。信仰は、イエス・キリストをお送り下さった神様の恵みが分かり行く度合いに応じて深められて行くものです。最初から「～を理解せよ、～しなければならない」と強いられるものではありません。神様への信頼が深められて行く中で、「枕する所がなくても大丈夫」「一番大事なことは主に従うこと。その時、全てが導かれて行く」ということも分かって来るのです。また少しずつ分かって行く中で、実際にその恵みを体験して行けるのです。あせる必要も、強いる必要もないのです！

### ④今日の洗礼式に際して

イエス・キリストは、①洗礼を受けよ、②教えを学び続けよ、③そうしたら、いつもあなたがたと共にいることが分かるようになる、と言われたのです(マタイ 28:19-20)。この順番が大切です！